



公開討論会は村民が判断の絶好の機会です

拝啓 燕三条青年会議

所様

私の生まれ育った弥彦

村では、来年一月下旬に村長選挙が予定されています。現職の事務所開きが三條新聞に載っています。したが、すでに「村長選出馬Y・T氏を支援する会。大谷前村長、本多村議ら五十人参集 小林村政は正しかったのか。人が

の道として正解か、審判を仰ぎたい」と支援する会が結成されたことも三條新聞は伝えておりました。

そこでお願いがございます。三十六年ぶりの村長選挙となった四年前には告示前の平成十七年一月十六日に、燕三条青年会議所様主催・公開討論会支援NGOリンカーン・フォーラム様後援の、弥彦村長選挙公開討論会が計画され、村内に周知

予定のチラシのゲラも準備されておられました。挑戦者の小林豊彦氏は、早々に参加の意思を示されたそうですが、現職断然有利の評判が高い中で、なぜか当時の大谷良孝村長は公開討論会に消極的だったのか、返事がなかったため実現しなかったと聞いておりました。

幻となった討論会を、今回は実現していただけないでしょうか。すでに四年もたつてお

りますので、当時の担当者の方々も役割が変わつておられるものと思えます。公開討論会は村政に関心をもつことと立候補者の政策が明らかになり、村民が判断する絶好の機会と考えております。

実施には予算と人員など短期間に検討しなければならぬことがあることを十分承知しておりますが、可能であれば計画して頂けたら幸いです。

年末年始と多忙を極める中ですが、ご検討をよろしくお願ひ申し上げます。敬具

(H・K)